

年—月—日(—)

年—月—日(—)

3月8日
合唱団
アートの会へ!

号外 じゅがい

3月8日



お水取り

FEATURES OF TODAI-JI'S OHTOTORI RITUAL



次のページから
3月8日の1日を
たどりようにして
写真つきで
書かせていただけ
ます
水里



3月8日(土) 朝9時 一宮駅

みんな今日1日の
小旅行にワクワク
しながら続々と集まり
はじめました。

みんな何となく、まだ
「かわく見え」(修二会)
というものが何なのか
よく分かっていない
状態だったのです。
じつうだい

なととなくしか今日行くところを想像できませんでした。

途中のサービスエリアで「お昼ごはんを食べ、1時前に目的地に
とうちやく!



左の写真の博物館で
ボランティアの方による
とってもわかりやすい
(火曜日にます) 説明
を受けました。

そこで聞いた事を簡単?にまとめますと…

「お水取り」(修二会とも言います)というは、十一面觀音に現世の罪を懺悔して許していただき事をお願ひして、精神的な豊かさを得る行事。

の、まうです。

その行事の中に練行衆が経文を朗唱する儀式が

(注②)

聲明

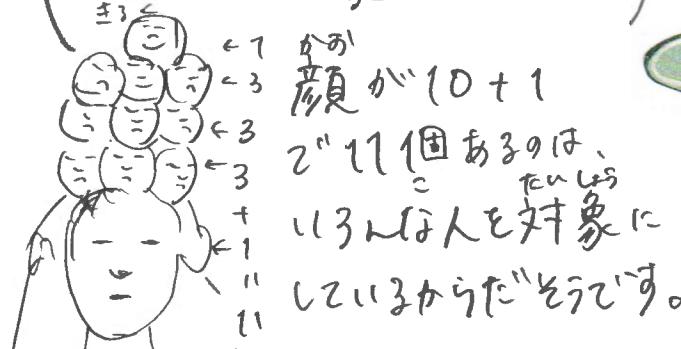
すなはち

なんですか!!!(今回私たちがやる春光悔過)

そのお水取りの儀式をする場所が東大寺二月堂なので、二月堂の

2nd本尊(注③)は十一面觀音像(大・小)二つが申してあります。

実はこれ、直接(?)見てないくらい
で誰も見たことがないはずですが、
記録として練が残っています…あれ?



二月堂の像のチロニ本があります。

総合としては千手觀音よりもあり、

これは113×3倍手形3×3倍形で
が複数ある形のようです。

注① ハンゲ

神仏の前で罪を告白し、悔い改めます。

注② ハンギ

声高く歌たり詩歌

お詫びたりすと
お詫びとて礼拝の
お詫びとて安置され
最も重要な仏菩薩

そして、まだなぜこの行事があ水取りと呼ばれるかにしたのか
○というのは、この行事がはじまて頃のお言にさかほソヌモ...
いわくら いわく

おかーしむかじ、実忠というおぼうさんがいたそうです。

実忠さんは、ある日が手を抜き出し、ふだん（神泡落？普陀落？）
(注④)

という山へ行き、それはもうすんぱらいい光景を見ました。
ニラリハ

それを見、そこがやつれの行事をやるしかな！と思った

実忠は、いぢいぢな神仏に来てもらいました。しかしニニギ

1人の神が遅刻をしてしまったのです。申し訳なくなつたその

神さまは、出身地である若狭(注⑤)の水をあげたのです...

この水を飲むと無病息災だと言われています。

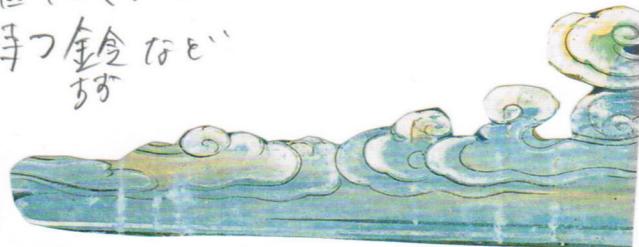
カビタミツバ (注⑥)

-博物館には他にも真っ白な紙の着物(行事の間)

二本を着るやうです)やおぼうさんの持つ金など

色はありませんが、私が見てても

衝撃的だったのは



南

一 お経のコレ(長めの横けう)

一 ありますよね? これは実は

西洋の音階 という「ラ」の階

ういんぢや! 知りませんでした...

無

一 いぢんより話を開いて、

次に向かうのは

院

⑤

ひびき

とき

病氣

いな

え

ア

ト

⑥

ふだん

山

日

月

星

土

水

清

山

日

月

星

土

水

火

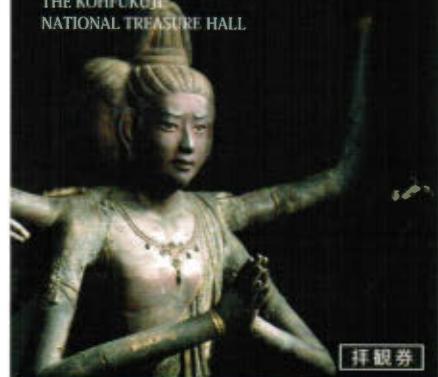
4

ふくじ
興福寺です!

興福寺というは、^{Furu} 大化の革新^{Kisen}
^{ひやく} に中臣鎌足^{なかみのさき} の子、藤原不比等^{ふひとう} が
建立^{たて}した 藤原氏の居^{すむ} 所^{ところ} で…

興福寺国宝館

THE KOHFUKUJI
NATIONAL TREASURE HALL

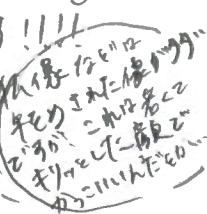


拝観券

フ・ミ・リ!

この有名^{わかだい} 一部^{おんぶ} の女性^{めの} の中^{なか} からいいと。
話題^{はなしひき} の 阿修羅^{あしゅら} 像^{ぞう} が あります!!

右上のは 国宝館^{こくひかん} のチケット^{チケット} です
残^{ざの} 急^{いそ} ながら 私は 中^{なか} に入^り ました...



奈良には いた 3と2で

「鹿せんべい」 あります ものが

150円くらいで 売ってい

る。 興福寺も 例外^{例外} です

ありませんでした。

そんな鹿せんべいの味は...?

Yan 「くたくたしきつた
味のないせんべい」

Yan 「節分豆^{せつぶんまめ} の味」

どちら人間^{ひと} にとっては あんまりのよう

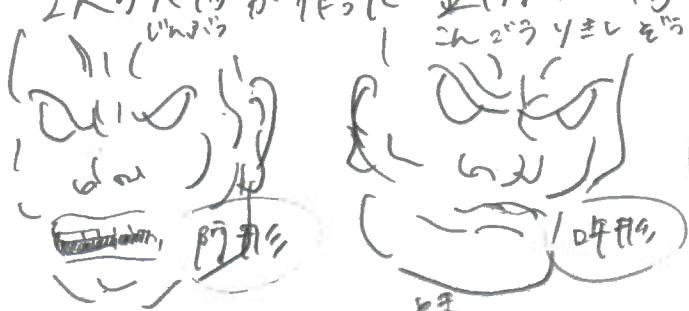


鹿さんたちは人間が近づいて
来ると鹿せんべいをくれるのか、と
かんちがいとして、なぜか頭を
たてに振る動作をしていました。
左の写真は、その動きがあはつ
をして「子羊」に見えたお姉さん
たちが「ニンニチは」といながら
かじきをしていました笑
きっと鹿さんたちはあはつを
していつももりはないでしゃう…

おんぎん歩いで行くと何か(?)見えました。

これは「東大寺 南大門」です。中には運慶、快慶という

2人の人物が作られた金剛力士像があります。



阿形つまゆの
あくと「(う)」ト
ひらがな五十音
最初の最初の音でさわ

二人以上が何かをする時に
ひつたり息が合うことを

「阿吽の呼吸」といい

ますが、それを二の像は

その「あ」と「(う)ん」を表して
おらわしています。



ニホモナズンズン歩くと…

← ←



これこそ、かの有名な東大寺大仏殿です！国宝です！

とうだいじ だいぶつでん

こくぼう

手を清めてから中に入ると

あっ！奈良の大仏です!!!

(盧舍那佛)

るしゃにっぽう

さすがに有名な観光地になります。

2,200人がタタかったのです。

179柱に貫通

179穴を通った子も

19人かいました。



大仏様の頭のことを
たまに「アーチー・アーチー」とか
言ひはじめの3人で「アーチー」
このへアヌタルルにはちて
「螺旋髮」という名前が
あります。

こんなものがコレクション
として売ってました。
これは何でしょう？

よく見ると

散華 ^{サルリ}と書いてあります！

散華 ^{サルリ}とは仏を供養するために花びらをまきちらす事だそうです。
実際には、このように花びらの形をして紙をまきちらすのです。



これが最後の目的地

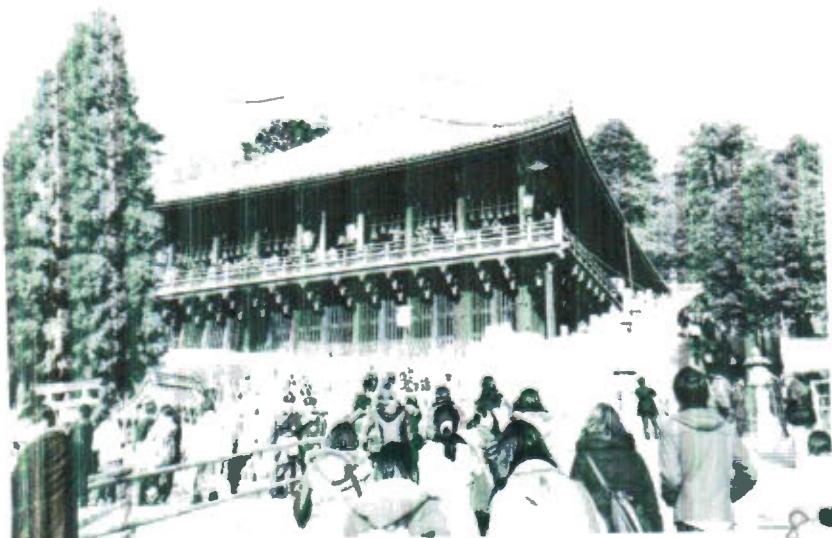
二月堂です。

この外でとても大きな
たいまつを見て、中で
聲明を聞きます。



大仏殿を出て、鹿が出てきそうな
林の中を(本当に鹿が出てきました)
ぐるぐるぐるぐる登ります。

お昼ごはんが11時前だったのに、
道中に売っていたおやつ
どうですか
おたごり、おまんじゅうなどを見
みつけハラペコです。



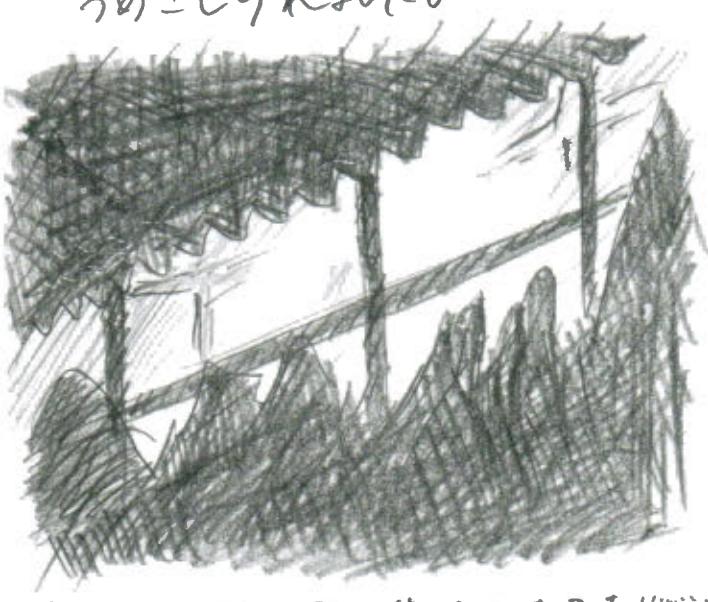
場所取りをしたかったら3時
で見ればいいし、5時から
(ほじまつは7時) 取りつつ、
まんまと — ?と思いまして。
↓
約1時間後



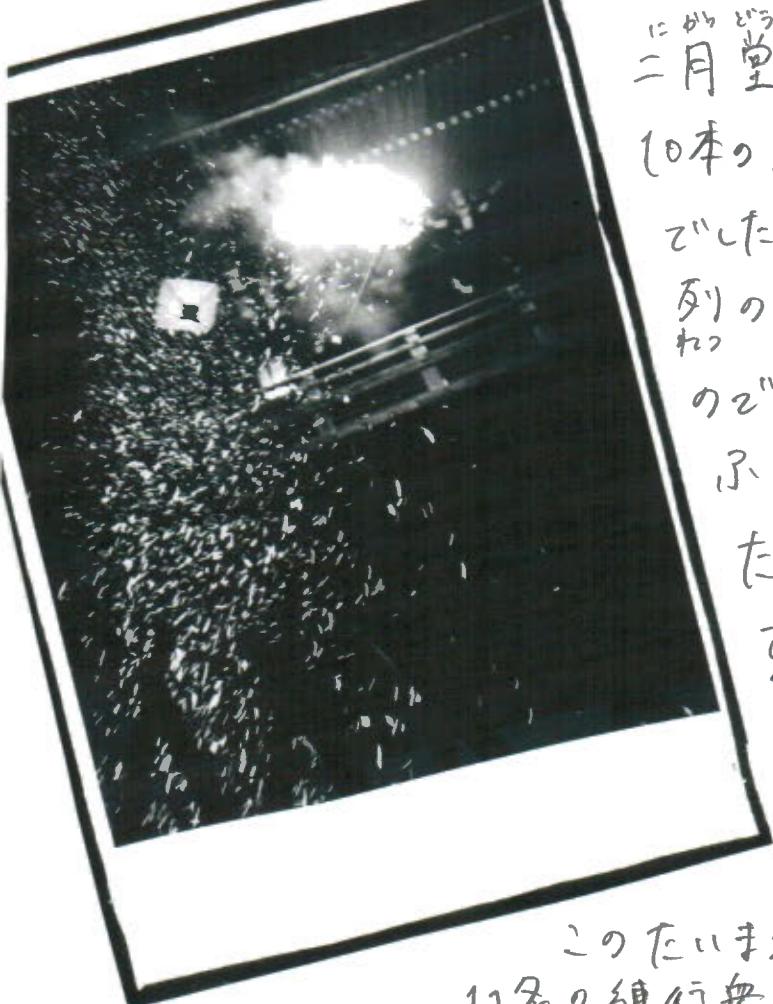
「(20) 本当にすごい人でした。」
「(20) うなづいたー、たあ！」
本当にすごい人でした。
お手洗いに行こう。
帰ってから、2時間に1時間もかから
なくてとか…
しき物として事立場所が
もったいなくてから、と
つめさせられました。



7時にちょうどモカツの電灯が
消え、真っ暗になりました。
すこし二月堂のわきにある通路
をつたってつても大きいたりま
が。真っ暗闇になつたにつの
大きなたりまつは、見立てる人口や
通路の大きさをくっきり写して
いました。



(70) = ターフ調子が悪くて絵にならなかった(…)



二月堂より火の粉をまきちらす
10本の大好きなたまつは**大迫力**
でした。私はとても運よく番前の方の人のうしろで見せてもらったので、頭に火の粉がひえた灰かふってくろぐらいでいた。
たまつの火のエネルギーはすさまじく、あつたかく感じました。(空気はキキン冷たかったです)

このたまつはこの行事のあつとめをすゞ11名の練行衆の足元をくわすためにはじましたそうですが…ふむふむ

練行衆がこのたまつとともに二月堂の中に入、
2声声明をするのでそれを聞くたりに私たちもすべてのたまつの後二月堂へ上がります。二月堂のまわりにあつた提灯はとてもキレイでした(右の写真)



「二月堂」では女人禁制

しかし裏の物置きのようなくースペースで（一応屋内です）聞かせていた事がありました。

入った時はもうはしまでがり、練行衆が激しく床をならすダダダダン！という音がしばらく聞こえたかと思うと、

称名悔過がはじまりました。これこそこれが水のメイントップ

懺悔です。最初の部分は、ほんとうにそりまたでした。その後も

とても似ていて、腹の奥底からしゃがりとした声で二月堂に向かって響かせ、とびえていました。続く宝号。これなんかもっともと

そのまま、西洋の音楽用語にムリヤリおきかえてしまうと、私たちが練習しているもの（オーファー下など）をとびえていよいよアレ（=）。

途中で違うものやホラ（質問へ樂器）などを交えながら

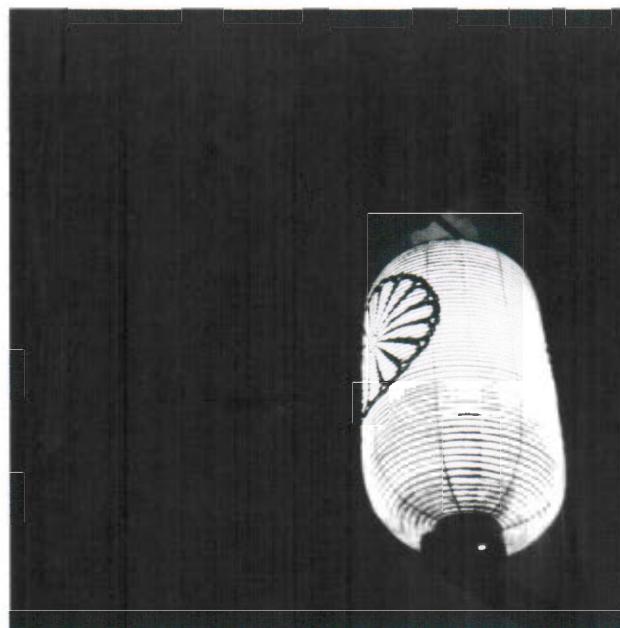
「五仏御名／大懺悔」、「般若心経（略）」と続き、廻向門を聞いた後、なまこ入、2から1時間もたつ（二ノ門）、立泣く外に出ました。しつかりとした低く自力のある声を聞いて興奮している私たちには対照的、外の空気など——、でもつめたかったのです。

帰りは100円に安く買った大福を買ひ込んで、

2ルートバスの中ぐるりびいた。。。

○でいた
#のトロ
下れねい
ふの火事

END



最後までお読みいただき ありがとうございました！